

県民協働型自然共生推進手づくり事業

「あそびがたけ 筋ヶ岳登山道整備事業」

☆日時：平成19年10月28日（日） 9：30～16：00

☆場所：周南市大字大潮字小河内登山道

☆参加者：27人

☆共催：山口ささゆり会

1 スケジュール

9：30～	県立山口徳地青少年自然の家を出発
10：30～	筋ヶ岳登山道下見登山開始
12：30～14：00	山頂にて昼食
14：00～	下山開始
15：40～16：30	登山道入り口付近の除草作業

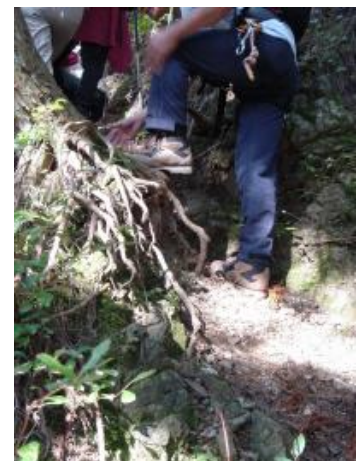
2 活動内容

- 視覚障害者3名と共に登山道を歩く。（途中、都合により視覚障害者2名下山。）

「山口ささゆり会」は視覚障害者と共に登山等の自然に触れる活動をしている団体です。障害者と一緒に山口県を代表する名山「筋ヶ岳」登山をし、一緒に楽しむことにより体中で自然を感じながら、環境を保全することの大切さを認識することとしています。

そこで、視覚障害者と一緒に登山することで、健常者が気づかない場所も、彼らが危険でないように枝打ちや段差補正等の登山道整備を行うための下見をするとともに登山口付近の草刈りを実施しました。

山道は、かなり足下が悪く狭い上、木の根が出ている場所も多く水が流れた痕が深くえぐりとられ、あちこちに窪みが出来ている状態です。





草刈機を使い、熊笹などで山道が狭くなっていた場所
の下草を刈ります



登山道の下草が刈られた後、歩きやすくなっています

山頂までの8割位がかなり急な坂道。
視覚障害者はガイドの人の肩に手をかけたり、
ガイドロープを使用しての登山。健常者でも気
をつけていないとつまづくほど、足場が悪く起
 伏の激しい道が続きます。



風や音、自然の大きさを感ずる「鎖場」



登山道の整備・・・枝が飛び出たところは、細い枝は側の太い木に縛りつけたり、枝を落
とします。また、下草を刈り、歩きやすいようにします。



今回の視覚障害者との下見登山により、整備が必要な箇所と実際に整備ができる箇所の確認ができました。